

Express5800/LoadBalancer Express5800/LBシリーズ

Windows Server 2003 の利用について

作成日 2003/11/20 初版



はじめに、

このドキュメントはExpress5800/LoadBalancer、LoadBalancer(Blade)、Express5800/LBシリーズの 分散ノードとして「Microsoft(R) Windows Server(TM)2003」(以下Windows Server 2003)を対象と するために必要な Microsoft Loopback Adapter のインストールおよび仮想 IP アドレスの設定方法につ いて記述しています。分散ノード用エージェントモジュールは Windows NT4.0、Windows 2000 Server と同じモジュールを使用します。インストール方法については各モデルのユーザーズガイド、または Management Console より LoadBalancer のオンラインヘルプ「分散ノード側の事前設定」を参照してく ださい。

対応機種一覧

- ・Express5800/LoadBalancer(アプライアンスサーバシリーズ)
 - N8500-627
 - N8100-730
 - N8100-801
- ・LoadBalancer(Blade)ブレードサーバシリーズ
 - N8400-006
- ・InterSec Express5800/LB シリーズ
 - N8100-801A
 - N8100-901

Microsoft、Windows 2000、Windows Server 2003は、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

本ドキュメントは予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。



目次

| はじめに、 | 2 |
|--------------------------------------|------|
| 各モデル別セットアップの流れ | 4 |
| 1.MICROSOFT LOOPBACK ADAPTERインストール手順 | 5 |
| 2.MICROSOFT LOOPBACK ADAPTER設定手順 | . 10 |
| 3 .備考 | . 14 |



各モデル別セットアップの流れ



- *1 分散ノード自動認識機能を使用して Windows Server 2003 を自動設定する場合、Windows Server 2003 に分散ノー ド用エージェントモジュールのインストールが必須となります。
- *2 レイヤ7分散 (Web サーバ固定化)のみの分散を行う場合は、Microsoft Loopback Adapter のインストールは 必要ありません。
- *3 分散ノード用エージェントモジュールのインストールについては、各ユーザーズガイド、または Management Console のオンラインヘルプ「分散ノード側の事前設定」を参照してください。



負荷分散サービス宛て(仮想IPアドレス)のリクエストをWindows Server 2003 で処理するためには、「Microsoft Loopback Adapter」のインストールが必要となります。

1. Microsoft Loopback Adapter インストール手順

以下の方法で「Microsoft Loopback Adapter」をインストールします。

(1)「スタート」>「コントロール パネル」>「ハードウェアの追加」の順に選択して「ハードウェアの追加ウィザード」 を起動します。

| Administrator | פ-בשעב אק | インターネット オフション キーボード ゲーム コントローラ サウンドとオーディオ デバイス システム スキャナとカメラ | |
|---|--|--|--|
| エクスプローラ ローラ ローンド プロンプト メモ帳 | | タスク タスク バーと [スタート] メニュー ▲ タスク バーと [スタート] メニュー ▲ ネットワーク接続 ペ ハードウェアの追加 マォルダ オブション ご フォント | |
| | 検索(S) ファイル名を指定して実行(B) | シリンタと FAX ショレグラムの追加と削除 マウス ユーザー補助のオブション ユーザー名およびパスワードの保存 ライセンス ユー芝列油 | Server 2003 |
| すべてのプログラム(P) ・ | | 2 音声認識 3 画面 管理ツール 管理ツール 地域と言語のオブション 本源オブション 重話とモデムのオプション | ▶ ごみ箱 ₽ ♥ A 般 登 學 @ Caps кана |

図1.1





(2)「ハードウェアの追加ウィザード」が起動したら、[次へ]をクリックします。

図1.2

(3)「はい、ハードウェアを接続しています」を選択し、「次へ」をクリックします。



図1.3



| ハードウェアの追加ウィザード |
|---|
| 次のハードウェアは既にコンピュータ上にインストールされています。 |
| 下の一覧にある場合は、インストールされているハードウェア デバイスを選択してから、D太へ] をクリックし てプロパティを確認するか、または今ある問題のトラブルシューティングを実行してください。 |
| 一覧にないハードウェアを追加するには、「新しいハードウェア デバイスの追加] をクリックしてください。 |
| インストールされているハードウェア(N) |
| ● ● 通信ポート (COM1) ● 通信ポート (COM2) ● ■ Intel(r) 82371 AB/EB PCI to USB Universal Host Controller ● USB ルート ハブ |
| ●新しいハードウェア デバイスの追加 |
| |
| < 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル |

(4)「インストールされているハードウェア」から、「新しいデバイスの追加」を選択し、「次へ」をクリックします。

図1.4

(5)「インストール方法」より「一覧から選択したハードウェアをインストールする」を選択し、「次へ」をクリックします。

| ハードウェアの追加ウィザード |
|--|
| ウィザードで、ほかのハードウェアをインストールできます。 |
| このウィザードで、ほかのハードウェアを検索して自動的にインストールすることができます。または、インスト ールするハードウェアのモデルがわかっている場合は、一覧から選択することもできます。 |
| インストール方法を選んでください。 ハードウェアを検索して自動的にインストールする (推奨)(S) |
| < 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル |

図1.5



NFC

-

キャンセル



< 戻る(B)

次へ(N)>

(6)「共通ハードウェアの種類」から「ネットワーク アダプタ」を選択し、「次へ」をクリックします。

🞐 ポート (COM と LPT) 刘 マルチ ボート シリアル アダプタ 🔋 メモリ テクノロジ ドライバ

Ъ モデム

(7) 製造元から「Microsoft」、「ネットワークアダプタ」から「Microsoft Loopback Adapter」を選択し、[次へ]を クリックします。

図1.6

| ハードウェアの追加ウィザード | | |
|--|--|-------------------|
| ネットワーク アダプタの選択 ネットワーク アダプタを選択します | | |
| 11-ドウェアに一致するネット 世界 レストールディスクがある場合 | ワーク アダプタをクリックしてから [OK] をクリックし さは、 [ディスク使用] をクリックしてください。 | てください。このコンボーネントのイ |
| 「製造元 | | |
| Microsoft Realtek | Microsoft Loopback Adapter | |
| このドライバはデジタル署名されての ドライバの署名が重要な理由 | います。 | ディスク使用(出) |
| - | 〈戻る(<u>B</u>) 次へ | (N)> ++>tu |

図1.7



(8)もう一度「次へ」をクリックして、「Microsoft Loopback Adapter」をインストールします。

| ハードウェアの追加ウィザード | |
|--|-------|
| ハードウェアをインストールする準備ができました。 | |
| インストールするハードウェア | |
| Microsoft Loopback Adapter | |
| 新しいハードウェアのインストールを開始するには、じたへ]をクリックしてください。 | |
| < 戻る(<u>B</u>) (次へ(<u>N</u>)) > () | キャンセル |

図1.8

(9) インストール終了後、「完了」をクリックすることでMicrosoft Loopback Adapter のインストールは完了します。



図1.9



2. Microsoft Loopback Adapter 設定手順

インストールした「Microsoft Loopback Adapter」に仮想 IP アドレスの情報を登録します。

(1)「スタート」>「コントロール パネル」>「ネットワーク接続」の順に選択します。



図2.1





(2)「ネットワーク接続」の中から追加した Microsoft Loopback Adapter の[ローカルエリア接続]をクリックします。

2.2

図2.2では[ローカルエリア接続3]がMicrosoft Loopback Adapter になります。

(3) 選択された Microsoft Loopback Adapter パネルの「プロパティ」ボタンをクリックします。

| 状態: | 接続 |
|--------------|-----------------------|
| 祖続時間: 速度: | 00:05:54 10.0 Mbps |
| 動作状況 | 送信 —— 🐨 —— 受信 |
| パケット፡ | 59 0 |

2.3



(4)パネル内の「インターネット プロトコル (TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

| 🕮 Microsoft Loopbac | k Adapter | |
|--------------------------------------|---|---------------------------------|
| | | 構成(<u>C</u>) |
| D接続は次の項目を使用 | します(_): | |
| 🗹 💾 Microsoft ネットワ 🗋 🚚 ネットワーク負荷分 | ーク用クライアント ・散 | |
| 🗹 🧾 Microsoft ネットワ | ーク用ファイルとプリンタキ | 共有 |
| 🛛 🐨 インターネット プロ | トコル(TCP/IP) | |
| インストール(N) | 肖耶余(旦) | プロパティ(<u>R</u>) |
| 说明 | n The second second second second second | |
| 伝送制御プロトコル/イン ネットワーク間の通信を打 ルです。 | ッターネット プロトコル。相 提供する、既定のワイド: | I互接続されたさまざまな エリア ネットワーク プロトコ |
| | | |

図2.4

- (5)[IPアドレス]にManagement Console に登録したグループの仮想 IPアドレスを入力します。
 - [サブネットマスク]はネットワークに合わせて設定します。
 - 注) I P アドレスとサブネットマスクのみ設定し、デフォルトゲートウェイは設定しないで下さい。

| インターネット プロトコル(TCP/IP)のプロパティ | <u>? ×</u> |
|---|--|
| 全般 | |
| ネットワークでこの機能がサポートされているか きます。サポートされていない場合は、ネットワ てください。 | 易合は、IP 設定を自動的に取得することがで フーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせ |
| ○ IP アドレスを自動的に取得する(Q) | 仮想IPアドレス |
| ⓒ 次の IP アドレスを使う(S): | |
| IP アドレスΦ: | 192 168 0 3 |
| サブネット マスク(山): | 255 255 255 0 |
| デフォルト ゲートウェイ (<u>D</u>): | |
| C DNS サーバーのアドレスを自動的に即 C 次の DNS サーバーのアドレスを使う(症) | 以得する(E) ネットワークに合わせます E): |
| 優先 DNS サーバー(<u>P</u>): | |
| 代替 DNS サーバー(<u>A</u>) | |
| | 詳細設定 |
| | OK キャンセル |

図2.5



(6)次に[詳細設定]ボタンをクリックして、[自動メトリック]のチェックボックスをはずします。 (7)[インターフェイス メトリック]の値を 9999 に変更し、[0K]をクリックします。

| TCP/IP 詳細設定 | | | <u>? ×</u> |
|---|----------------|---|------------------|
| IP 設定 DNS WINS オプ | ション | | |
| _「 IP アドレス(<u>R</u>) ――― | | | |
| IP アドレス 192168.02 192168.03 | | サブネット マスク 255.255.255.0 255.255.255.0 | |
| | 追加(<u>A</u>) | 」編集(E)」 | |
| ーデフォルト ゲートウェイ(<u>F</u>): ー ゲートウェイ | | \$ዞህ»ク | |
| | 追加(D) | 」 編集① 」 | 育/『赤(<u>M</u>) |
| 「自動メトリック(U) インターフェイス メトリック(N): | | \supseteq | |
| | | 25 | |
| | | ОК | キャンセル |

2.6

- 注) 仮想 IP アドレスを複数登録する場合は、IP アドレス[追加]ボタン(図2.6)を押して、新規に仮想 IP アドレスを追加 してください。
- (8)以上で Microsoft Loopback Adapter の設定は完了です。



3.備考

- **備考(1):** Management Consoleに表示される「分散グループ情報」内の分散ノードサーバタイプは、Windows Server 2003 の場合でも、「win2k」または「Win2k」と表示されます。
- 備考(2):エージェントモジュールのインストール中に、「LBhost サーバ用 IP アドレス」に仮想 IP アドレスが規定値として表示された場合は、[参照]ボタンを押して(図3.2)実 IP アドレスに変更して下さい。

「LBhost サーバ用 IP アドレス」が Management Console で登録する分散ノードの実 IP アドレスになります。

| Iplb4 Setup | × |
|--|--|
| データの編集 要求されたデータを入力してください。 IPアドレスと通信ボートを選択してください。 | Coordinator との通信ポートは、特に 変更する必要はありません。 Management Console にて、変更して |
| LBhostサーバ用IPアドレス: 192168.26 既定値は一枚目のネットワークカードのIPです 他のIPアドレスを選択する場合、「参照」をクリックします。 | いる場合のみ変更してくたさい。 参照(R) |
| Coordinatorと通信ポート: 46002 | |
| (月)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日) |) <u>x~ (N)> ++>tell</u> |

図3.1

LBhost サーバ用 IP アドレスには、仮想 IP アドレスを指定しないで下さい。

| setup | | × | |
|-------------------------------------|--------------------------|---------|---------|
| IPLB4サービスが使用す さい。 | るIPアドレスを選択してく | të 🛐 | |
| -ローカルIPア | ドレス | | |
| 192.168.2 192.168.2 192.168.2 | 2.6 実 IP 2.5 2.168 | アドレスを指定 | だしてください |
| ОК | (キャンセル) | | |

図3.2



備考(3):エージェントモジュールの IP アドレスを変更する場合、

エージェントモジュールのアンインストールを行い、再度インストールを行ってください。

- **備考(4):**イベント ビューアにおいて、アプリケーションログ内に Perflib イベント I D2003 の警告ログ(図3.3、図3.4) が発生した場合は、次のコマンドの実行で回避できます。
 - (1) コマンドプロンプトを起動し、下記のコマンド(2)~(7)を入力し、実行します。
 - (2) > unlodctr w3svc [return +-]
 - (3) > unlodctr asp [return +-]
 - (4) > unlodctr inetinfo [return +-]
 - (5) > lodctr w3ctrs.ini [return +-]
 - (6) > lodctr axperf.ini [return +-]
 - (7) > lodctr infoctrs.ini [return キー]以上で、警告ログは発生しなくなります。

| (ハント 日付(点): 2003/11/06 ソース(S): Perflib 時刻(例): 19:24:03 分類(P): なし 種類(E): 警告 イベント ID Q): 2003 ユーザー(U): N/A 国 国 コンピュータ(Q): C206 E E 説明(D): ** ** (************************************ | ことものプロパテー | ſ | | | ? |
|---|--|---|--|---|--|
| 日付(A): 2003/11/06 ソース(S): Perflib 時刻(M): 19:24:03 分類(B): なし 種類(E): 警告 イベント ID(Q): 2003 ユーザー(U): N/A コンピュータ(Q): C206 説明(Q): ^{**} InetInfo ^{**} サービスのパフォーマンス ライブラリ * C:¥WINDOWS¥system32¥infoctrs.dlf** の構成情報が レジストリに(保存されている、信頼されたパフォーマンス ライブラリ の情報に 一致しませんでした。このライブラリの関数は信頼見されて いるものとして処理されません。 詳細な情報版は、 <u>http://go.microsoft.com/fwlink/events.asp</u> の [ヘルプとサポート セン ター] を参照して(ださい。 | (ベント) | | | | |
| 説明(D): 「InetInfo"サービスのパフォーマンス ライブラリ "C:¥WINDOWS¥system32¥infoctrs.dll" の構成情報が レジストリに保存されている、信頼されたパフォーマンス ライブラリ の情報版に 一致しませんでした。このライブラリの関数は信頼されて いるものとして処理されません。 詳細な情報版は、 <u>http://go.microsoft.com/fwlink/events.asp</u> の [ヘルプとサポート セン ター]を参照してください。 データ(T): © バイト(B) © ワード(W) | 日付(A): 時刻(M): 種類(E): ユーザー(U): コンピュータ(Q): | 2003/11/06 19:24:03 警告 N/A C206 | ソース(<u>S</u>): 分類(<u>B</u>): イベント IDΦ: | Perflib なし 2003 | |
| 詳細な情報は、 <u>http://go.microsoft.com/fwlink/events.asp</u> の[ヘルプとサポート セン ター] を参照してください。 データ(T) | and 「InetInfo"サー の構成情報が 一致しませんで | -ビスのパフォーマ レジストリに(保存 ・した。このライブ・ | ?ンス ライブラリ *) ?されている、信頼 ラリの関数は信頼 | C:¥WINDOWS¥syste 頂されたパフォーマンス 頂されて いるものとして | m32¥infoctrs.dll″ ライブラリ の情報版と 処理されません。 |
| | 詳細な情報は、 ター] を参照し | 、 <u>http://go.mic</u> てください。 | <u>rosoft.com/fwli</u> | <mark>nk/events.asp</mark> の [^ | ルプとサポート セン |
| | | | | | |
| のK 1 なかけれ (読用(4)) | $\mathcal{T} = \mathcal{Q}(\underline{1})$ | MARE C | <u> </u> | | - |
| OK 1 ないれば 法田(4) | | | | | * |
| | | | | | |

🛛 3.3



| 日付(A): 2003/11/06 ソース(S): Perflib 時刻(M): 19:24:06 分類(B): なし 種類(E): 警告 イベント ID Ø: 2003 ユーザー(U): N/A ■ |
|--|
| コンピュータ(<u>0</u>): C206 |

図3.4

以上